

# 「やると決めたなら上を目指す。それが私という人間だから」

# FYT 株式会社

東京都中央区銀座 8-17-5 Aios 銀座 8F URL: http://www.fyt-inc.co.jp/



#### 近藤 康良 代表取締役社長

# 医療技術が進歩した成果を より多くの人が享受できるよう 価値ある商品を広めていく

再生医療・免疫治療に関する事業や、健康・美容・環境・衛生商品 の開発および、輸出入商品の販売などを手掛ける『FYT』。日進月歩 で進化する医療技術がより多くの人のために生かされるように-その想いで、近藤社長が手掛けている事業だ。本日は、元 WBA 世 界 Jr. フライ級チャンピオンの渡嘉敷勝男氏が社長にお話を伺った。

#### -日本国内で三社を経営し、多角的に 事業を展開されていると伺っています。 本日は、その一社である『FYT』のお話 を中心にお聞かせいただけるとのこと で、御社はどういった事業を?

再生医療に着目し、高輪と名古屋に拠 点を持つ細胞療法のクリニックと資本提 携を行い、斡旋 & 紹介事業を行ってい ます。人が元来持っている細胞を再生し て根本治療を行う再生医療は今後さらに 注目され、市場は年々拡大していくと言 われています。そこで当社では、医療技 術を斡旋&紹介し、また美容整形外科と 連携して綺麗な身体づくりを提案してい るんです。また美容・健康・環境・衛生 分野に特化して最先端の技術や商品を 扱っており、業界初となる1台3役(水 素水、吸引、水素風呂) に対応の水素発 生器や、天然鉱石と同じホルミシス効果 を持つイオン石、今後注目を浴びるであ ろう美容成分を配合したフェイスマスク などを扱っています。日本国内はもとよ り中国で人気を得ているんですよ。

――中国、ですか。御社は中国とのネッ トワークをお持ちであると。

前職時代に、中国に駐在していたんで す。自社が開発した技術が、高い評価を 得て、日本の大手商社から技術提携の申 し出がありまして。それを契機に中国進 出が決まって、海外で仕事をすることは 良い経験になるだろうと私が自ら現地に 飛び込んだのです。10年間に亘って中国 に駐在しましたので、最初は全く話せな かった中国語を話せるようになり、そし て何より広い人脈を得ることができまし た。企業のみならず政財界にも人脈を築 くことができ、そもそも独立・起業した のはその人脈を生かして事業を手掛けた いと考えたからでした。まず上海で貿易 会社を設立し、日本の生活雑貨・用品を 輸入販売したところ、これが当たりまし て。たとえば日本の粉ミルクやオムツと いったベビー用品。中国の商品は粗悪品 が多かったため、日本製品は人気があっ たんです。そうしてまず、中国で事業基 盤を築いた後、日本へ。『J3-Style』を立ち 上げ、家具のデザイン・販売、飲食店舗 の運営、それから自動車のカスタム・板 金塗装などを手掛けるようになりました。 一一今や中国へ進出する企業は多いです

が、中国で起業して自国へという流れは 珍しいですね。それも、中国で人脈があ る社長ならではなのでしょう。それにし も、業種の幅が広い。

自動車については、もともと車好きが 高じてカスタムの知識を得ており、全国 各地のコンテストで連戦連勝を重ねまし た。かつては世界に一台だけのカスタム カーをつくったこともあるほどで(笑)、 自身のノウハウを事業に生かしました。 ――なんと、社長は多才ですね。しかも

# 事業にできるほど、とは。

自分の得意分野を生かすのが私のスタ イルで、ありがたいことに事業として成 り立っているのは人脈のお陰。中国の 方々とお付き合いしていて思うのは、信 頼関係を築けば非常に義理人情に厚い ということです。だから私も人とのつな がりを何より大事にしてきました。たと え取引が大きくとも信用できなければお 断りしますし、逆に信用できれば損得勘 定抜きにお付き合いし、互いの発展のた めに精一杯働かせていただきます。

――人脈のお陰とおっしゃいますが、ま ずビジネスとして成り立つという見込み

## products for health and beauty by FYT





水素分子をたっぷり含んだ水素水を飲めるのは もちろん、出来たての水素を直接吸入でき、風 呂用アタッチメントを使えば自宅で水素風呂に 入ることもできる。



▶ Be:ion (ビーイオン)

天然鉱石と同じホルミシス効果を持 つ「美イオン石」が強いマイナスイ オンを放つアクセサリー。



guest interviewer

(元WBA世界Jr.フライ級チャンピオン)



とが目標です。現在は、アジアを中心に 各国から引き合いがありますから、商機 はあると睨んでいます。市場をワールド ワイドに広げ、日進月歩で進化する技術 の恩恵を皆様に享受していただけるよう 事業を続けていきたいですね。その想い が会社を発展させていくでしょうし、社 員が誇れる会社を築くことにもつながる と思いますから。

――本日は、ありがとうございました。 (2018年11月取材) 「『FYT』さんが紹介されている製品の製 造を手掛ける方にもお話を聞くことがで きました。実は中国とのビジネスでは過 去に苦い経験があるそうですが、『申し分 ない人脈と経験を持つ近藤社長の強い勧 めで踏み出しました。社長がついていて 下さるならと安心してお任せしています』 とおっしゃっていました。取引先からも 全幅の信頼を得ていらっしゃいます」

渡嘉敷 勝男・談

### がなければ、手を差し伸べる人も現れな いでしょう。社長の目の付け所が良いの だと思います。

皆さんとのコミュニケーションを大切 にしていることが奏功しているのだと思 います。会話を重ねれば、お客様が何を 求めていらっしゃるのかが自ずと分かる。 今後も、必要とされている物やサービス の提供に徹したいですね。私は、ビジネ スは人対人で成り立っていて、人間関係 はコミュニケーションが全てだと思って います。これは、中国に駐在し始めた時 にも感じたこと。言葉の壁がありました が、たとえ片言でも自分の言葉で伝えよ うと努力することで、相手に伝わるんで す。眼の前の相手に伝えたい、理解し合 いたいという気持ちを持って接すること から、全ては始まるんだと思います。

――社長がそのスタンスで相手と向き合 おうとするから、相手もそれに応え、良 い関係を築けるのでしょうね。今後の展 開については、どのようにお考えですか。

現在、当社が海外販売元を担っている 健康食品や化粧品は中国をメインに発信 していますが、それを世界中に広めるこ

# 事業推進の背景にある「まごころ」

▼前職時代は金属加工分野に身を置いていた近藤社長。当時から「社会で活用でき る技術はどんどん世に広めたほうが良い|との考えを持っていた。その考えは今も 健在。日進月歩で進化する医療技術の恩恵をより多くの人が享受できるよう始めた のが『FYT』の事業だ。海外にも、価値ある商品や技術を広めた功績が評価されて、 2016年には「東久邇宮まごころ文化褒賞」を授賞。同褒賞は、東久邇盛厚殿下の「う まいみそ汁を考えた人には文化勲章を与えるべき」という理念に基づき、「まごころ」 の働きに対して授与されるもの。社長の「良きものは広めたい」という考え方の背景 にあるのは、まさにその「まごころ」に他ならない。